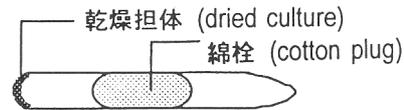


4 アンプルの開封と微生物の復元方法

How to revive lyophilized or L-dried cultures

- ◆ アンプルの開封と微生物の復元は、下記の説明をご参照下さい。
- ◆ すぐに開封しない場合は、低温（5℃）に保存して下さい。



凍結乾燥アンプル/L-乾燥アンプル
(lyophilized ampule / L-dried ampule)

アンプルには株番号とアンプル作成日が印字されています。

<p>①</p>	<p>封入された綿栓の中央部にダイヤモンドアンプルカッター（又はヤスリ）で半周以上傷を付ける。</p>
<p>②</p>	<p>傷の付いたアンプルを70%アルコールを含んだガーゼでよく拭く。滅菌ガーゼにアンプルを包み込み、傷を外に向け注意してアンプルを折る。</p>
<p>③</p>	<p>アンプルに綿栓を残しアンプルの先端を取り外す。</p>
<p>④</p>	<p>開封後、直ちに滅菌したパスツールピペットを用いて、アンプル内に液体培地を約0.2 ml を注ぎ入れ、乾燥担体をよく懸濁し、元の試験管にもどす（= 懸濁液-A）。</p>
<p>⑤</p>	<p>懸濁液-A から1白金耳を、寒天平板培地上に画線塗抹するか、懸濁液-Aをそのまま、指滴条件下で培養する。</p>